

【テーマ】 エコミュージアム・サステイナブル観光とまちづくり

【講師】 京都外国語大学 国際貢献学部 グローバル観光学科 吉兼秀夫教授

【日時】 2020年10月2日

【場所】 zoom を利用した双方向授業

1 社会の変化は観光期待も変える

・工場見学といった「みる・する」の観光から、より本物にふれる「しる・ひたる」の観光に移り変わっていた中で、インバウンド客によって「みる・する」の観光が再度脚光を浴びることとなった。「みる・する・しる・ひたる」の観光は社会の変化によって期待されるものも変わっていく。

・観光における役割は、どの役割も重要であり、敬意を持つことが大切である。

・コロナウイルスが流行している現在は、安心が求められ、デジタルを含むガイドや屋外での観光がもとめられる。

2 観光における「図と地」論

・従来の観光は、最初に目につくもの（世界遺産、絶景 etc）【=図】を観光商品として見せるものが主流であった。

・最近の観光は、背景の景色、町・森の雰囲気や生活文化といった今まではあまり注目されてこなかった【=地】のほうにまで目が向くようになってきている。「背景」（脇役）であったものが、「風景」（主役）になるようになった。

・快適な「地」の保全・創造は、快適な生活環境を住民に提供するとともに、観光客にとっては、楽しい異日常体験（異なる日常）を提供することができる。「地」の世界は、時間をかけて地域の中に蓄積されてきた記憶である。

・「図」の観光は、客席に座って素晴らしいお芝居を見るようなものであり、用意するものは絶品でなければならず、さらに現在はコロナの中での安全安心が求められる。一方、「地」の観光は、地域全体を素晴らしい舞台と見立てて観光客本人が役者を気取るようなものであり、終わった時のスタッフとの感激の共有が何よりの思い出となることから、素晴らしい環境とわくわくする台本を用意することが求められる。

・「地」の観光は満足の源泉であるが、「図」の存在が観光客の来訪するきっかけになることは変わらないので、「地」の図化（ブランド化）が必要である。

3 「地」の保全と創造を進めるための「エコミュージアム」

・住民が誇りを持つまちづくりの参考になる活動としては、エコミュージアムがあげられる。エコミュージアムは、リビエールがつくりだした造語であり、地域社会の内発的・持続

的な発展に寄与することを目的に、一定の地域において、住民の参加により環境と人間との関わりを探る活動としくみであると定義されている。

・地域の中にあるすべての素材（地）に価値があり、それらが一体となってはじめて地域は地域となる（図と地）と考えるものである。歯車は噛み合わなければ用をなさない。

・エコミュージアムは、地域の「宝探し。魅力探し」から地域の記憶の井戸を掘り、地域全体を博物館の展示室として、地域の遺産・記憶を本来の場で保存活用しようとするものである。その際に大事なスローガンは、「記憶を前に」であり、未来志向が大切である。

・エコミュージアムは、ジグソーパズルと伝言ゲームに例えることができる。並べてみなければ絵はわからず、一つ欠けても完成しない空間の博物館であり、前の人の情報を正しく伝えないと伝わらない時間の博物館である。

・自分の姿（文化）は当たり前すぎてその価値を認識しにくく、知らないうちに多文化が自文化を駆逐していることもある。よって、エコミュージアム活動を通して、「自文化を自分化する」ことが必要である。

【質問】 一部抜粋

Q 宝物を探す際に必要なことは何か？

A 科学的なまなざしは大切である。しかし、内部だけでとどめておくと、風化してしまうので、学者のみに理解をとどめないことも大切であり、共有できる環境を作る（オンラインやイベントなど）。また、大学との連携の場合、学生が思いがけないことを発見することもある。話し合ったことは財産目録として見える化させておくことが大事（過程・プロセス）。

Q 「図」はネットなどで検索できるが、「地」は現地でないとは体験できないように感じるがどう考えるべきか？

A 将来的には現場でなくても満足する本物を求めない世代が来る可能性は否定できない。ただし、移動の体験は重要であると考えます。ただし、本物よりも偽物が優れたものになる時代になってくると、実際に行かなくても観光が可能になるかもしれない。

Q 活動をしていくなかでの失敗例は存在するか？

A 存在する。リーダーがいる時代は成功している場合でも、リーダーに頼る体制が出来上がってしまい、後継が育たなくなることは多い。また、リーダーは常に責任を負っていることから、リーダーのモチベーションを保つためにも、ほめることも大切である。常に後ろをみる（余裕）がある状態を作り上げることが重要である。

以上。